

ブラッドオレンジを広めるために

1年1組 笹岡 美 1年1組 清家 栞 1年1組 高倉 佳純
 1年1組 松浦 千夏 1年1組 若松 由奈
 指導者 山崎 薫

1 課題設定の理由

柑橘類は愛媛県で有名な特産品の一つだが、あまり知られていない品種や食べたことがないという品種があり、その中の1つである宇和島地域で生産されているブラッドオレンジをたくさんの人々に広め、地域への貢献を図りたいと考え、この課題を設定した。

2 仮説

地元でもブラッドオレンジを知らない人や知っていても食べたことがない人が多いと考え、全国的にもまだまだ知名度が低いのではないかと考えた。

3 実験・研究方法

(1) アンケート調査・官能検査

ア 生徒対象

ブラッドオレンジ、河内晩柑、はるかのジュースを準備し宇和島東高校1年生1・2組(79人)を対象に行った(図1)。この際、ジュースの種類は明かさず試飲前の見た目の印象と、試飲後の印象を調査した。

イ 地域の人対象

きさいや広場にてジュースの写真を準備し、35人を対象にアンケートを実施した(図2)。

(2) 集計分析

エクセルで集計し、グラフ化したものを考察した。

(3) ポスター制作



図1 試飲の様子



図2 きさいや広場にて

4 結果と考察

(1) 官能検査の結果

ア 甘味(図3・図4)

試飲後に河内晩柑と答えた人がいなくなり、その分はるかやブラッドオレンジと答えた人の割合は変化がなかった。

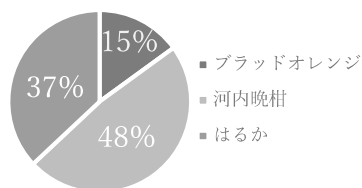


図3 試飲前

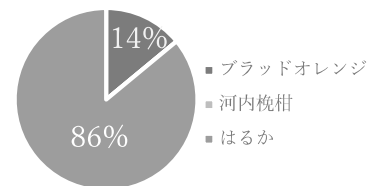


図4 試飲後

イ 酸味(図5・図6)

ブラッドオレンジ、河内晩柑ともに試飲後は酸味を感じた人が増えて、はるかやが大幅に減った。

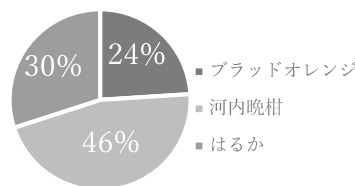


図5 試飲前

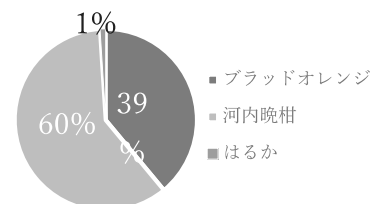


図6 試飲後

ウ 苦味 (図7・図8)

ブラッドオレンジは試飲前は苦そうだと思っている人が多かったが、試飲後は減った。逆に河内晩柑は、試飲後は苦かったと答えた人が大半を占めていた。

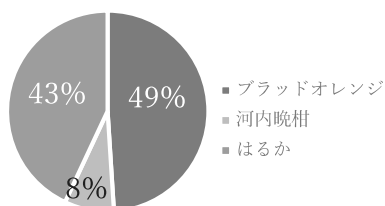


図7 試飲前

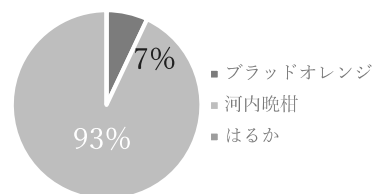


図8 試飲後

エ 美味 (図9・10)

試飲前はブラッドオレンジがおいしそうだと答えた人の割合が最も少なかったが、飲んだ後では最も多くなっている。

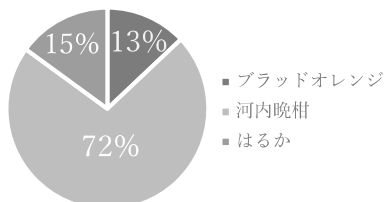


図9 試飲前

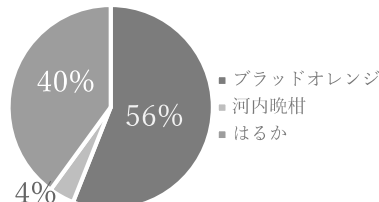


図10 試飲後

これらの結果より、見た目の味の印象と、実際の味は自分の思ったとおりではないと感じた人が多い。また、見た目だけでは馴染みのない色なので、ブラッドオレンジだと分かる人は少なかった。

(2) 地域の人対象

写真を見てブラッドオレンジを美味しそうと感じた人はいなかった。(図11)ブラッドオレンジを知っている人は、35人中20人という結果(図12)で、その内4人が県外の人だった。むしろ、宇和島市の人の方が、知らない人が多く知名度は低いと考えられた。

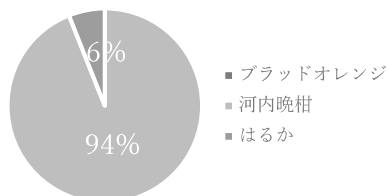


図11 見た目の味の印象

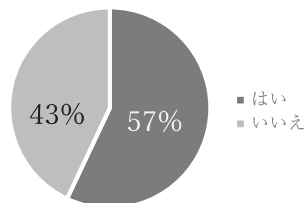


図12 ブラッドオレンジを知っているか

5 まとめと今後の課題

私たちは、ブラッドオレンジの知名度が低いと考えた。また、その原因として私たちは見ただけで買わないという選択になってしまうのではないかと考えた。今後は、今回作成したポスター(図13)を使い、宣伝して知名度向上につなげていきたい。また、ポスター以外のパンフレットなどで、宣伝していきたい。

参考文献

- ・JA えひめ南みかん指導販売部みかん販売課
<https://www.blood-orange.jp/>



図13 啓発ポスター